

研究機関名：東北大学

受付番号： 2009-99
研究課題名 婦人科癌（卵巣癌、子宮体癌）におけるマイクロ RNA の意義
研究期間 西暦 2009 年 6 月（倫理委員会承認後）～ 2014 年 3 月
対象材料 <input checked="" type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名 子宮、卵巣） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input type="checkbox"/> その他（）
上記材料の採取期間 西暦 1995 年 1 月～ 2004 年 12 月
意義、目的 マイクロ RNA とは、一般の RNA と比較して非常に短い RNA で、ヒトの成長、発達の過程に深く関わっていると考えられています。近年、ヒト癌において、このマイクロ RNA の異常が知られてきました。そこで、我々は卵巣癌、子宮体癌におけるマイクロ RNA の意義を調べ、治療に役立てることができないかどうか検討することにしました。
方法 対象は、上記の期間に卵巣癌あるいは子宮体癌の病名で東北大学病院において切除された癌組織です。これらの組織について、マイクロ RNA の発現をマイクロアレイという方法やPCR法という方法により検討し、発現に異常があるマイクロ RNA についてはさらにその詳細について、細胞株などをもちいて検討します。
問い合わせ・苦情等の窓口 東北大学大学院医学系研究科・病理診断学分野・助教 赤平 純一 TEL：022-717-8050 FAX：022-717-8051